

令和2年度使用 小学校算数科（算数） 調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びのとびら」や「今日の深い学び」のページには、「問題をつかもう」「自分の考えをかき表そう」「友達と学ぼう」「振り返ってまとめよう」「使ってみよう」などの見出しがあり、問題解決的な授業を構成するための参考となる。 ○数学的な思考力・表現力を高められるように、考え方の例を複数提示している。また、吹き出しを用いた「つぶやき」で解決のヒントやまとめの方向性を示している。 <p><数学的活動の事例について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「今日の深い学び」のページで数学的活動をわかりやすく可視化している。 ○4年わり算の筆算では、具体物（色紙）やテープ図（数直線）などを関連づけて考えさせる構成となっており、高学年へ向けた比例の考え方を大切にしている。 <p><つまずきへの取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○図やグラフなどに対応したデジタルコンテンツが用意され、マークで示されている。 ○ページ下部の吹き出しでは、数学的な見方・考え方についてのヒントが豊富に用意されている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年①のみA4判になっており、算数ブロックを直接教科書において学習できる。
大日本図書	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入等のページには、「問題をつかもう」「自分で考えよう」「学び合おう」「まとめよう」「使ってみよう」「ふり返ろう」などの見出しがあり、問題解決的な授業を構成しやすい。 ○写真による板書例があり、授業のイメージがつきやすい。 △わり算の単元では、わり算ありきの立式を提示している。□を使ったかけ算の式からの変形（逆算の関係）という考え方を扱うには、授業者の工夫が必要である。 <p><数学的活動の事例について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「算数たまたまばこ」で日常生活と算数の関わりを取り上げ、算数の土台に乗せて考える工夫がされている。 ○4年わり算では、10や100のまとまりを意識させやすいように、100、10、1のカードを使って考え方を整理しやすくしている。 <p><つまずきへの取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年で既習のふりかえりがしやすいように、学年1冊本となっている。どこのページをふりかえればよいかわかるようにリンクマークが付されている。 ○問題番号が色分けされており、習熟度に応じた学習ができるようになっている。
学校図書	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「発見」「解決したいな」「考えたいな」「説明したいな」「くらべたいな」「表したいな」「知りたいな」「確かめたいな」「やってみたいな」などの児童の心情に沿った見出しがあり、児童自らが問題解決的な学びを進めやすい。 ○特設ページでは、対話的、協働的な学習が行えるような発展的な問題を扱っている。 △割合の学習では、4マス関係表を用いた立式が強調されているため、子供たちが機械的な処理の習得だけにとどまらないよう、授業を工夫する必要がある。 <p><数学的活動の事例について></p> <ul style="list-style-type: none"> △4年わり算の筆算の導入では、色紙の束を分ける際に算数ブロックでの活動を提示しているが、筆算の考えへつなげにくい展開となっているため、授業では工夫が必要である。 <p><つまずきへの取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○誤答例を扱う設問があり、正しい考え方を子供たちが見つける活動が仕組まれている。 △4年わり算の筆算では、除数と被除数の数値を丸めて考えさせるために、注目する位以外の場所を鉛筆で隠す方法が提示されている。除数が2桁の場合、過大商となり仮商修正の回数が多くなるため、指導の際には工夫が必要である。

	<p><その他></p> <p>○プログラミング的思考を養うページでQRコードが掲載され、デジタルコンテンツにアクセスできる。</p>
教育出版	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <p>○「～しましょう」という問いの連続で授業を進めるスタイルになっている。</p> <p>○「同じように」「だから」「いつも」など、数学的な考え方を引き出す言葉を整理して学び合いに生かせるようになっている。また、「だったら!？」のマークを用いて、子供たちが発展的に考える場面を促せる構成になっている。</p> <p>△解決方法の事例は概ね2つで構成されており、比較はしやすいが、深い学びを実現させるためには、授業者の工夫が必要である。</p> <p><数学的活動の事例について></p> <p>○コラム「算数のミカタ」で、各領域を貫く数学的な見方・考え方を取り上げている。</p> <p>○4年わり算の筆算では、$\boxed{100}$、$\boxed{10}$、$\boxed{1}$の束やサクランボ図、わり算のきまりを提示し関連させながら筆算の仕組みを考えやすくしている。</p> <p><つまづきへの取組について></p> <p>○脚注に「よくあるまちがい」を設け、誤答例を示すことにより、正しい理解が得られるよう工夫がされている。</p> <p>○つまづきが予想される問題には、「考えるヒント」を示しポイントを意識させている。</p>
啓林館	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <p>○「めあて」がマークとともに明示されており、児童が何を学ぶのか（考えるのか）明確になっている。</p> <p>○子供の吹き出し等による気づきやつぶやきが多く、問題解決の道筋がわかりやすい。</p> <p>△解答例が少ないため、授業者の力量が問われる。</p> <p>△計算の仕方の学習では機械的な操作（アルゴリズム）の要素が強く、多様な考えのよさを共有したり感得したりするためには、授業の工夫が必要である。</p> <p><数学的活動の事例について></p> <p>○計算の仕方を考えさせる場面では、計算のきまりやたしかめ算を意識させている。</p> <p><つまづきへの取組について></p> <p>○つまづきに対応した復習・学年の総復習のページを設け、つまづきの多い学習内容には★マークを付して意識させている。</p> <p><その他></p> <p>○紙面の要所にQRコードが示されており、タブレットPC等で必要なデジタルコンテンツにアクセスできるようになっている。</p>
日本文教出版	<p><問題解決的な学習の構成について></p> <p>○単元の導入等のページには、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「振り返ろう」などの見出しがあり、問題解決的な授業を構成するための参考となる。</p> <p>△数学的な見方・考え方を支える表現方法（4マス関係表、数直線等）が単元によってまちまちのため、一貫した考え方を身につけさせるためには授業者の力量が問われる。</p> <p><数学的活動の事例について></p> <p>○「学び方ガイド」の裏面に「算数で使いたいことば・考え方」を掲載し、自分の考えをわかりやすく表現するためのポイントを示している。</p> <p>○4年わり算の筆算では、具体物を筆算に関連づけて考えさせる構成になっている。また、たしかめ算を大切に扱っている。</p> <p><つまづきへの取組について></p> <p>○単元末に「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」のページを設定し、つまづきやすい内容を重点的に取り上げている。</p> <p><その他></p> <p>○上下巻ともにノート例が示されている。</p>